

平成26年度 福祉教育協力学区指定事業活動報告書

地域社会・学校・家庭の協働
— 子どものときから福祉の目を —



社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

発刊にあたって



福祉教育協力学区指定事業は、平成17年度まで実施した「児童・生徒のボランティア活動普及事業」を発展させて平成18年度から新たに始まった事業で、今年度で9年目を迎えました。

この事業は、「児童・生徒のボランティア活動普及事業」において学校中心に行われていた福祉教育から、学校を含めた地域社会や家庭が協働して、子どものときからボランティア活動等を通して社会福祉への理解と関心を高め、助け合い活動を育む福祉教育を推進していくことを目的に実施しています。

本事業は、市町村社会福祉協議会を指定し、小学校区または中学校区を単位として、それぞれの地域性を活かしながら地域一体となった福祉教育の活動に取り組んでおります。

今年度は、平成24年度に指定をした茨城町社会福祉協議会が本年度で指定期間の3年間を終了することから、これまでの福祉教育に対する取り組みをまとめ、広く周知するために、この報告書を発刊することとしました。

この報告書が今後、各地域で取り込まれる福祉教育活動の一助となれば幸いに存じます。

最後になりましたが、本報告書の作成にあたりご協力いただきました茨城町社会福祉協議会担当者、学校の先生方、地区役員の皆様方に厚くお礼申し上げます。

平成27年3月

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会
会 長 関 正 夫

目 次

- 発刊にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 福祉教育協力学区指定事業実施要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～4
- 活動報告（平成24年度指定社協）
・茨城町社会福祉協議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5～24

福祉教育協力学区指定事業実施要項

1 目的

地域社会・学校・家庭が協働して、子どものときから社会福祉への理解と関心を高め、助け合い活動を育む福祉教育を推進することを目的とする。

2 実施主体

市町村社会福祉協議会（以下、「市町村社協」という）とする。

3 地域の指定

茨城県社会福祉協議会（以下、「茨城県社協」という）から指定を受けた市町村社協が、小学校区や中学校区など特定の区域を指定する。

4 指定期間

地域の指定は、3ヵ年とする。

5 指定地域が実施する事業

（1）必須事業

- ① 指定当初に、福祉教育推進協議会（以下、「協議会」という）を設置する。なお、協議会の名称は、指定を受けた市町村社協において決定する。
- ② 指定1年目に「ぼうさい探検隊」を実施し、子どもたちが地域の福祉・生活課題に気づき、地域が主体的に課題を解決しようとする意識づけを行う。

（2）選択事業

指定区域内の小・中学校及び高等学校と連携して、次の事業を選択して行う。

- ① ボランティアスクール、福祉体験講座などの啓発活動
- ② 福祉マップづくりなど、地域の点検・調査活動
- ③ 地域社会で生活する高齢者や障がい者等に対するボランティア活動
- ④ 社会福祉施設への訪問、ボランティア活動
- ⑤ 学校における「総合的学習の時間」等との連携事業
- ⑥ 小・中学校及び高等学校を通じた系統的な学習
- ⑦ 未使用教室の活用事業
- ⑧ 家庭、地域社会への広報活動
- ⑨ 指定地域内の相互交流・学習等
- ⑩ 地域内の複数の関係機関・団体との協働活動
- ⑪ その他、目的達成のため、協議会が必要と認める事業

6 協議会

- （1）協議会のメンバーは、市町村社協と福祉教育に関係する機関・団体等から選出する。

なお、メンバーは、実施事業や地域の実情を十分考慮し、構成例示を参照して選任する。

【構成例示】

教育委員会、学校、児童館、公民館、学童保育、社会福祉施設、福祉団体、民生委員・児童委員、ボランティア、PTA、子ども会育成会、自治会・町内会、企業、商店会、福祉関係行政等

(2) 協議会の役割

- ① 地域内の福祉・生活課題を把握し、課題に対応する選択事業の企画と実施を行う。
- ② 地区住民の事業への参加を促進する。

7 茨城県社協及び市町村社協の役割

(1) 茨城県社協から指定を受けた市町村社協は、協議会を設置する。

(2) 茨城県社協及び市町村社協は、次の事項に連携して取り組み、本事業を円滑に推進する。

- ① 講座・体験等の講師、助言者の斡旋及び派遣
- ② 関係機関等との連絡調整
- ③ 事業・活動に必要な資機材の提供
- ④ 関係資料の作成及び情報の提供
- ⑤ 指定地域内の相互交流
- ⑥ その他、目的達成のために必要な事項

(3) 茨城県社協は指定事業の実施経費として、予算の範囲内において、実施市町村社協に助成する。

指定市町村社会福祉協議会

期	指定期間(年度)	市町村社協名
第1期	平成18～20年	水戸市 城里町 結城市
第2期	平成19～21年	笠間市 北茨城市 牛久市 利根町
第3期	平成20～22年	茨城町 八千代町
第4期	平成21～23年	大子町 五霞町 美浦村
第5期	平成22～24年	行方市 小美玉市 坂東市
第6期	平成23～25年	震災のため希望なし
第7期	平成24～26年	茨城町
第8期	平成25～27年	坂東市 城里町
第9期	平成26～28年	水戸市 桜川市

『地域とともに築く福祉教育』

—福祉教育協力学区指定事業3年間の取り組みを通して—

茨城町立 川根小学校区 駒場小学校区



地域の高齢者とのふれあい



茨城町立川根小学校

社会福祉法人 茨城町社会福祉協議会

1 活動目標

- 年齢や立場を超え、学校や地域、家庭、様々な地域資源が協力し合い、地域のつながりを強化するとともに、人と人との助け合いの心が育まれていくよう推進する。

2 福祉推進協議会組織図

○福祉教育推進協議会委員

No.	要綱組織	所 属
1	自治会長	川根小学校区内行政区長
2	学校	川根小学校長
3	子ども会育成会	川根小学校区内子ども会育成会正副会長
4	民生委員・児童委員	川根小学校区内民生委員・児童委員
5	高年者クラブ	川根小学校区内高年者クラブ支部代表
6	P T A	川根小学校 P T A 正副会長
7	交通安全母の会	川根小学校区内交通安全母の会正副会長
8	更生保護女性会	川根小学校区内更生保護女性会正副会長
9	事務局	茨城町社会福祉協議会職員担当者

3 実践活動内容

◆ 1年次（平成24年度）

実施事業名	内 容
(必須事業) 福祉教育推進協 議会の設置又は 設置の検討	○ 川根小学校区に組織されている地区社会福祉協議会役員会にて 推進会議設置に向けての説明会を実施した。（7月13日）
ぼうさい探検隊 の実施	○ 活動にあたって事前打ち合わせを行う。（3月14日） ・ 分担箇所の確認，探検コースの確認 ○ ぼうさい探検隊の実施（3月25日） ・ 参加者：第4・5学年31名，地域協力者21名 ・ 児童が中心となって，110番の家，防災・防犯に関する施設 などを見て回り，その結果を地図にまとめた。 ・ 防災探検を行ったことで，安全に過ごすため注意すべき事を確 認するとともに地域協力者との連携強化を図ることができた。
(選択事業) 学校における 「総合的な学習の 時間」等との連携 事業 地域社会で生活 する高齢者や障 害児者等に対す るボランティア 活動 福祉マップづく りなど，地域の点 検・調査活動	○ 福祉体験活動 第4学年41名 ・ 盲導犬体験（2月7日） 盲導犬に直に触れる活動を通して，目の不自由な人の生活の 様子を知り，自分たちに何ができるかを学んだ。 ・ 手話体験（2月25日） 地域でボランティア活動をしている方を講師として招待し， 実際に活動している様子を聞いた。その際に，地域に生活して いるみんなが「支える人」「支えられる人」となり，安心して 暮らせるようなまちづくりが進められていることを学んだ。 ○ 2012Welcome かわね（秋祭り）（11月11日） ・ 校内行事（文化祭）に地域の高齢者を招待し，伝統文化の鑑賞 （鬼太鼓座公演）や昔遊び，レクリエーションなどで交流を深 めた。 2012Welcomeかわね（秋祭り）には地域住民も参加できる こととして，世代間の交流を通してお互いを思いやる心を育てた り，支え合う意識を高めたりする機会となった。 ・ 昔遊び会の際には，高齢者の方々を招待して交流を深めた。 ○ 地域の安全を把握するため，学期に1回，児童・保護者・教職 員交通安全ボランティアと一緒に通学路の危険箇所等を点検し， 安全マップの作成・確認を行った。

◆ 2年次（平成25年度）

実施事業名	内 容
(必須事業) 福祉教育推進協 議会の設置	<p>○ 川根小学校区に組織されている地区社会福祉協議会役員会から代表者をメンバーとした推進協議会を新たに設置し運営した。</p> <p>4月の会議では年間運営計画を、1月は実施報告及び次年度の活動計画について話し合いをもった。</p> <p>(1回目：4月10日，2回目：1月20日)</p>
(選択事業) 学校における 「総合的な学習の 時間」等との連携 事業 地域社会で生活 する高齢者や障 害者等に対する ボランティア活 動 安全マップづく りなど地域の点 検・調査活動 地域の方との交 流会	<p>○ 福祉体験活動（手話体験）第4学年44名（2月20日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度も、地域でボランティア活動をしている方を講師として招き、地域の実態や活動の様子などの話を聞き、地域の方が進めているボランティア活動について学んだ。また、私たちができることについて話し合いをもった。 <p>○ 高齢者疑似体験活動 第6学年48名（1月17日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者や体の不自由な人たちの疑似体験を通して、私たちの町をどのようにしたら、より過ごしやすくなるのかを考えた。 <p>○ 運動会（6月1日），Welcome かわね（秋祭り）（11月10日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会やかわね（秋祭り）では高齢者等を招待し、交流を深めた。運動会は敬老種目を取り入れ、児童が育てた草花をプレゼントした。2013Welcome かわね（秋祭り）では地域の方々も参加する「触れ合い活動」を行い、世代間交流を図った。 ・ 各種活動を通して、日頃から思いやりや支え合う心が育めるように努めた。更に、行事における触れ合い活動の中で、礼状を送るなど継続した取組を行った。 <p>○ 地域の安全を把握するため、学期に1回、児童・保護者・教職員・交通安全ボランティアが一緒になって通学路の危険箇所を点検し、安全マップの補充作成・確認を行った。</p> <p>また確認したところを校内に掲示したり、学校だよりに掲載したりして注意を喚起した。</p> <p>○ 夏季休業中に、地域の方と話し合いをもち、通学路の危険箇所や地域における注意点など各種問題点及びその解決方法について話し合いをもった。</p>

◆ 3年次（平成26年度）

実施事業名	内 容
(必須事業) 福祉教育推進協 議会の設置	<p>○ 学校区で組織した地区社会福祉協議会の代表をメンバーとした推進協議会を設置して運営した。構成メンバーは、社会福祉協議会、学校、PTA、子ども会育成会、自治会長、民生委員・児童委員、高年者クラブ、ボランティア、交通安全母の会、更生保護女性会、学識経験者等である。</p>
(選択事業) 学校における 「総合的な学習 の時間」等との 連携事業 地域社会で生活 する高齢者や障 害児者等に対す るボランティア 活動 安全マップづく りなど地域の点 検・調査活動 地域の方との交 流会	<p>○ 福祉体験活動（手話体験） 第4学年34名（2月3日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度も地域でボランティア活動をしている方を講師としてお招きし、地域の実態や活動の様子などを聞き、地域の方が進めているボランティア活動を学んだ。また、私たちにできることについても話し合いをもった。 <p>○ 高齢者疑似体験活動 第3学年37名（2月25日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者や体の不自由な人の疑似体験を通して、地域に生活しているみんなが「支える人・支えられる人」であることを知り、安心して暮らせるような町づくりについて考えることができた。 <p>○ 運動会（5月31日）、Welcomeかわね(秋祭り)《11月9日》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各行事に高齢者等を招待して交流を深めた。運動会では地域の方々との交流種目を通して楽しい時間を過ごし、普段お世話になっている方々に感謝の気持ちを表すことができた。 <p>また、2014 Welcomeかわね（秋祭り）には地域の方々も参加する「触れ合い活動」の時間をとり、世代間交流を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種活動を通して、日頃から思いやりや支え合う心が育めるように努めた。更に、行事の「触れ合い活動」の中で、礼状を送るなど継続した取組を行った。 <p>○ 地域の安全を把握するため、学期に1回、児童・保護者・教職員・交通安全ボランティアと一緒に通学路の危険箇所を点検し、安全マップを補充作成・確認した。また、確認した内容について校内掲示をしたり学校だよりに掲載したりして注意を喚起した。</p> <p>○ 夏季休業中に、地域の方と通学路の危険箇所、地域内の注意点など各種問題点及びその解決方法について話し合いをもった。</p>

4 主な活動事例紹介

(1) 福祉体験活動

(ア) 手話体験 (平成24・25・26年度)

地域でボランティア活動をしている方を講師としてお招きし、基本的な手話を体験した。また、実際に活動している様子を聞き、地域に生活しているみんなが「支える人」「支えられる人」となり、安心して暮らせるようなまちづくりが進められていることを学んだ。



手話体験の様子



手話体験の様子



手話体験の様子

(イ) 福祉体験活動（平成24・25年度）

盲導犬活動やアイマスク体験を通して、目の不自由な人の生活の様子を知り、自分たちに何ができるかを学んだ。児童にとっては、相手の立場に立って物事を考えることの大切さに気付くよい機会となった。



盲導犬体験



アイマスク体験

(ウ) 高齢者疑似体験活動（平成24・25・26年度）

高齢者や体の不自由な人の疑似体験を通して、私たちの町をどのようにしたらより過ごしやすくなるのか考えた。2人1組でお互いに助け合いながら活動することで、自分が何をすべきなのか相手の立場に立って考えることができた。



高齢者疑似体験

(2) 高齢者や地域の方々との交流（平成24・25・26年度）

(ア) 運動会

運動会には敬老種目を取り入れたり、児童の育てた草花をプレゼントしたりして交流を深めた。また、地域の方々には表彰をしていただくことで、児童自身が大きな自信（自己肯定感）をもつことができた。



借り物競走の様子



表彰の様子

(イ) Welcome かわね (秋祭り)

Welcome かわね (秋祭り) には、地域の高齢者を招待し、伝統文化の鑑賞 (鬼太鼓座公演) や昔遊び、レクリエーションなどで交流を深めた。

このお祭りには地域の方々も参加できることとし、世代間の交流を通して、お互いを思いやる心を育てたり、支え合う意識を高めたりする機会となった。



開会セレモニー (感謝の気持ちを込めて花をプレゼントしている様子)



ふれあい活動 (あやとり)



ふれあい活動（会話を通しての交流）



ふれあい活動（だるま落とし）

（ウ）社会科「昔の道具」の学習【第3学年】

第3学年の社会科の学習では、地域の方々が昔使っていた道具を学校に用意し、道具の種類と使い方を説明してくださった。児童は、実物に触れ、話を聞くことができたことで昔の人々の生活の様子を肌で感じ取ることができた。



昔使われていた農業用具の使い方について説明を聞いている様子



(エ) 米作りを通しての交流【第5学年】

地域の方から提供していただいた水田「なかよし田んぼ」に行き、米づくりに取り組んだ。手作業による田植え、稲刈り、昔の道具を使った脱穀では、高年者クラブの方々の協力をいただきながら円滑に作業を進め、大きな実りを得ることができた。

米づくりを通して、稲の育て方や成長について理解を深めるとともに、自然環境における水田のもつ役割（水の浄化作用、気温上昇の抑制など）についても考える等、知識の幅を広げることができた。

各種活動を通して、日頃から思いやり、支え合う心が育めるように努めてきた。また、「触れ合い活動」に対するお礼状を送る等、継続した交流を行っている。



田植えの様子



稲刈りの様子



脱穀の様子

(3) 友部特別支援学校との交流【第4学年】（平成26年度）

平成26年度は、県の「特別支援学校との交流事業」の一環として、本校の体育館において本校児童と友部特別支援学校の児童が、ゲームや歌の交流活動を行った。

また、本校の4年生が「よさこいソーラン」を始めると、友部特別支援学校の児童も自然に踊り始め、館内は両校が一体化した和やかな雰囲気となった。



ゲームを通じた交流



ダンスを通じた交流



「よさこいソーラン」の発表

(4) 地域と一体となった安全教育

(ア) ぼうさい探検隊の実施（平成24年度）

「ぼうさい探検隊」は、第4・5学年児童（31名）、地域協力者21名の参加のもと実施した。「110番の家」や防災・防犯に関する施設などを見て回り、その結果を地図にまとめた。活動にあたっては、事前打ち合わせを行い、分担箇所の確認や探検コースの確認を行った。

防災探検を行ったことで、安全に過ごすための注意すべきことを確認するとともに、地域協力者との連携強化を図ることができた。

(イ) 安全マップの作成

地域の安全を把握するため、学期に1回、児童・保護者・教職員・交通安全ボランティアの方々と一緒に通学路の危険箇所を点検し、安全マップの補充作成及び確認を行った。安全マップを校内に掲示したり、学校だよりで紹介したりする活動を通して、安全な登下校ができるよう注意を喚起した。



安全マップ

5 成果と今後の取組

(1) 福祉教育の成果

- ① 子どもたちは、福祉体験や地域の方々、特別支援学校との交流等を通して共生意識が持てるようになり、支え合うことの大切さを学ぶことができた。
- ② 感謝の心が身についてきたのか、心のこもった挨拶をする子が増えてきた。
- ③ 地域の方々が学区の学校行事等に進んで参加することで福祉活動の充実が図られ、世代間の交流や親子の触れ合いが深まったように思われる。

(2) 今後の取組

本事業で培った地域の方々、学校、社協等のつながりを大切にして、今後は指定学区だけでなく町内全域に福祉の輪が広がるよう努めていきたい。

駒場小学校（区）の取り組み

1 学区の概要

本学区は町のほぼ中央に位置し、近くに町役場や町立図書館がある。豊かな自然に恵まれて田畑も多く、子どもたちは様々な農業体験を行っている。また、昔から地域に住んでいる人が多く、2世代～3世代家庭も多い。本校の近くには町総合福祉センター「ゆうゆう館」や特別養護老人ホーム「みどりの杜」があり、福祉体験しやすい環境にある。毎年秋に行われる「駒場フェスティバル」では、地域の高齢者と一緒に昔遊びを楽しんでいる。

2 福祉教育への取り組み

(1) 福祉に関する学習：「総合的な学習の時間」（4年生）

◎ 学習テーマ：「みんなにやさしい町をつくろう」

(2) 年間学習指導計画（平成25年度）

◎ 下記のような年間学習計画を学年で話し合って決め、関係施設等と連絡を取り合いながら学習を進めた。

第4学年 いきいきタイム（総合的な学習の時間）年間活動計画（70時間扱い）

学 期	1				2				3				
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		
共通テーマ	ネイチャー体験 5				駒場フェスティバル 5				自分の夢を考えよう 5				
学 年 テ ー マ	テーマ	オリエンテering みんなにやさしい町をつくろう ～ 55											
	活動構想	○手話の講習会等から障害のある人の存在に気づく。 ○福祉施設やケアハウス等とコンタクトをとり、車椅子やアイマスク等の体験をする。 ・茨城町総合福祉センター「ゆうゆう館」 ・特別養護老人ホーム「みどりの杜」				○福祉に携わる人や高齢者、ハンディキャップをもつ方々とふれあう中で、福祉面から見た社会の問題点を発見する。 ○自分にもできるボランティアを見つけ、実践計画を立てる。 ○実践を通して新たに発見した問題点について考え、次の活動計画を立てる。 ○新たに立てた計画に従い、活動を実践する。				○実践した結果を掲示物等にわかりやすくまとめ、発表会を行う。 ○発表会を通して、これまでの活動を振り返り、今後の自分の課題を考える。			
	評価計画	A	○	○	○	A		○	○	○	A		
		B				B	○	○			B		
C					C	○	○	○	○	C	○		
D					D					D	○	○	
E					E					E		○	
他の教科との関連	国語 「広告と説明書を読みくらべよう」 社会 「住みよいくらしをつくる」				国語 「お願いやお礼の手紙を書こう」 「みんなで新聞を作ろう」 社会 「住みよいくらしをつくる」 「きょう土を開く」				国語 「報告します、みんなの生活」 社会 「わたしたちの県」				
関連行事	愛校作業週間		愛校作業週間		愛校作業週間		駒場フェスティバル		愛校作業週間				

(3) 出前講座受講申込書・施設訪問申請書の作成・提出

◎ 「ゆうゆう館」及び「みどりの杜」に申込書・申請書を提出した。

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">事務局長</td> <td style="width: 25%;">次長</td> <td style="width: 25%;">係長</td> <td style="width: 25%;">係</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	事務局長	次長	係長	係					<p style="text-align: right;">(No. 25)</p> <p style="text-align: right;">平成 25 年 6 月 17 日</p> <p>所在地 茨城県東茨城郡茨城町大字駒場 4 番</p> <p>申込団体名 茨城町立駒場小学館</p> <p>代表者名 校長 佐野加代子 印</p> <p>電話番号 029-292-0315</p> <p style="text-align: center;">出前講座受講申込書</p> <p>このことについて、下記のとおり受講申込いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">期 日</td> <td>平成 25 年 6 月 26 日 (水)</td> <td>午前・午後 10 時 10 分より 午前・午後 11 時 10 分まで</td> </tr> <tr> <td>会 場</td> <td colspan="2">ゆうゆう館</td> </tr> <tr> <td>講座名</td> <td colspan="2">高齢者や障がいを持つ人の立場になって考えよう</td> </tr> <tr> <td>受講者</td> <td colspan="2">(1) 人数 21 人 (2) 受講者の種別 成人 ・ 青年 - () ・ 高齢者 ・ 女性 その他 ()</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="2">※ いきいきヘルス体操をお申し込みの方のみ、代表者のほかに 1 名緊急連絡先をご記入ください。 氏名 電話番号</td> </tr> </table> <p>申込先 〒311-3191 東茨城郡茨城町大字小場 1037-1 茨城町総合福祉センターゆうゆう館内 社会福祉法人茨城町社会福祉協議会 TEL 029-292-7141/FAX 029-292-3232</p>	期 日	平成 25 年 6 月 26 日 (水)	午前・午後 10 時 10 分より 午前・午後 11 時 10 分まで	会 場	ゆうゆう館		講座名	高齢者や障がいを持つ人の立場になって考えよう		受講者	(1) 人数 21 人 (2) 受講者の種別 成人 ・ 青年 - () ・ 高齢者 ・ 女性 その他 ()		その他	※ いきいきヘルス体操をお申し込みの方のみ、代表者のほかに 1 名緊急連絡先をご記入ください。 氏名 電話番号	
事務局長	次長	係長	係																					
期 日	平成 25 年 6 月 26 日 (水)	午前・午後 10 時 10 分より 午前・午後 11 時 10 分まで																						
会 場	ゆうゆう館																							
講座名	高齢者や障がいを持つ人の立場になって考えよう																							
受講者	(1) 人数 21 人 (2) 受講者の種別 成人 ・ 青年 - () ・ 高齢者 ・ 女性 その他 ()																							
その他	※ いきいきヘルス体操をお申し込みの方のみ、代表者のほかに 1 名緊急連絡先をご記入ください。 氏名 電話番号																							

<p>みどりの杜施設長 様</p> <p style="text-align: center;">施設訪問申請書</p> <p>縁由の係、真摯におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。 さて、「総合的な学習の時間」の一環として、下記の通り施設を訪問させていただきたく申請いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日 時 平成 25 年 6 月 12 日 (水) 9:30~11:30</p> <p>2 日 的 高齢者とのふれあいを通して、福祉についての理解を深める。 (「総合的な学習の時間」の一環として)</p> <p>3 内容及び日程</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 40%;">9:30</td> <td>施設者</td> </tr> <tr> <td>9:30~ 9:45</td> <td>施設の概要説明 介護の仕事について ふれあい活動の内容について 注意事項など</td> </tr> <tr> <td>9:50~10:40</td> <td>体験学習 お茶出し 歌・リコーダー演奏</td> </tr> <tr> <td>10:50~11:20</td> <td>車いすやベッドを借用した介護の体験</td> </tr> <tr> <td>11:30</td> <td>施設員</td> </tr> </table> <p>4 参加者 第 4 学年児童 21 名</p> <p>5 引率 教諭 江尻 裕次 教諭 瀬谷 純 教育実習生 林 実沙紀</p> <p>6 準備物 児童: エプロン、三角巾、ハンカチ、水筒、上履き 施設: 説明資料、マスク、スリッパ</p>	9:30	施設者	9:30~ 9:45	施設の概要説明 介護の仕事について ふれあい活動の内容について 注意事項など	9:50~10:40	体験学習 お茶出し 歌・リコーダー演奏	10:50~11:20	車いすやベッドを借用した介護の体験	11:30	施設員	<p>駒場小 第 25 号 平成 25 年 5 月 24 日</p> <p>茨城町立駒場小学校長 佐野 加代子</p>
9:30	施設者										
9:30~ 9:45	施設の概要説明 介護の仕事について ふれあい活動の内容について 注意事項など										
9:50~10:40	体験学習 お茶出し 歌・リコーダー演奏										
10:50~11:20	車いすやベッドを借用した介護の体験										
11:30	施設員										

- 1 -

3 主な学習活動の事例

(1) 町総合福祉センター「ゆうゆう館」における学習活動

① 施設内の見学

ゆうゆう館には、町の図書館や保健センターが入っている。また、デイサービスを行ったり、障害を持った方が作業をしていたりする部屋もある。最初に児童は、館長さんから「ゆうゆう館」の案内をしてもらった。

図書館には来たことはあっても、館内全体を見たことがある児童は少なく、目的に応じた部屋がたくさんあることに驚いていた。



《デイサービスで使用される風呂》



《デイサービスの部屋》

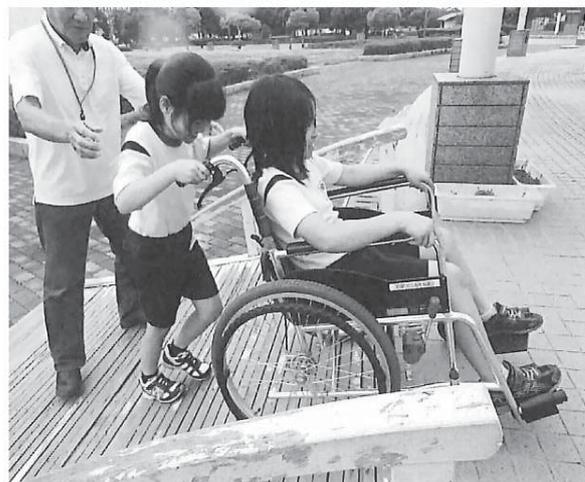
② 車イス体験

地域のボランティアの方に教えていただきながら、車イスに乗る人、押す人の2人1組になって行った。車イスの開き方から、車イスに座った人の足をどのようにするかまで教えていただいた。

「動きますよ」と声をかけることの大切さやスロープでの車イスの押し方が想像以上に難しかったとの感想を書いた児童が多かった。「車イスに乗る」「車イスを押し」の各体験をさせていただき、双方の立場から介助のあり方を考えることができた。



「足は、持ち上げて乗せてあげるよ」



「後ろ向き。車イスが落ちてきそう」

(2) 特別養護老人ホーム「みどりの杜」における学習活動

① 高齢者とのふれあい

初めて特別養護老人ホームを訪問する児童が多かったが、グループに分かれて歌やリコーダーの演奏を行ったり、一緒に体操を行ったりするなど、高齢者の方たちと一緒にふれあうことができた。

「歌を歌ったら泣いて
喜んでくれたよ」



「あく手をしたら温か
かったよ」



「一緒に歌を歌って楽しかったよ」

あく手をした時、ちよつとはずか
しかつたけど「ありがとう」
と言ってもらってうれしかったで

床シーツは、おじいさんやおばあさん
れずれにならないようにピシツとの
まて角を三角に折ってふとんの下に入

② シーツの交換

シーツ交換の際に、職員の方から「シーツがしわになっているとお年寄りの体に床ずれができる」ので注意するやうにと伺ったこともあり、4人1組になってシーツをかけたり、布団のカバーをつけたりする作業を真剣に行うことができた。



③ 車イス体験

車イスに乗る児童は目隠しをして、介助する人が何も言わずに押す場合と「動きますよ」と声をかけて押す場合とでは、どのように違うかを体験した。

「目が見えないので、声をかけてもらわないと不安でした。」という感想が多く、子どもたちは声をかけることの大切さを体験から学ぶことができた。



◇ 児童の感想
目をかくしをして車イスにのっていかせられると不安でした。声をかけてもらおうと安心してました。

④ ベッドから起こす体験

寝ている人をベッドから起こす体験は、ほとんどの児童が初めてであった。最初は、力づくで引っぱってしまい、なかなかうまくいかなかったが、職員の方にコツを教えてもらい、起こされる方も起こす方も負担が少なくなるような起こし方を学ぶことができた。



◇ 児童の感想
ベッドに寝ている人を起こす時は、はじめに足を曲げて、手をおかの上にせました。それから首の後ろに手を入れてくるりと回す。寝ている人を起こすのは、むずかしかったです。

「力づくでは、4人でやってもうまくいかないね」



「手は、どうしたらいいかな」 「背中とおしりの下に手を入れたら回すよ」

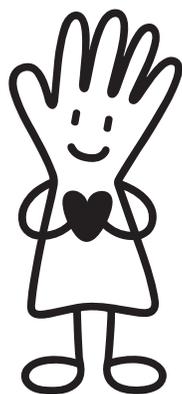
3 成果と課題

(1) 成果

- 子どもたちは、様々な体験をとおして福祉に対する視野を広げることができた。また、介助される側と介助する側の両方を体験することができたことで、双方の立場から相手の気持ちを考えることができた。
- 子どもたちは、体験からそれぞれの課題を見つけることができ、次はこんな学習や体験がしてみたいという計画を立てることができた。

(2) 課題

- みんなにやさしい町をつくるために、地域や社会において自分ができることは何かを考え、実生活に活かしていけるような取組につなげていきたい。



はんどちゃん

福祉教育協力学区指定事業活動報告書

第7期指定 平成24年度～平成26年度



社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

〒310-8586 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内

TEL：029-241-1133(代) FAX：029-241-1434